



ラトビア共和国 (Republic of Latvia)



- ラトビアへの援助総額は累計6億2,900万円。
- 1996年～2006年度にかけて、技術協力、文化無償資金協力を中心にODAを供与し、文化・教育活動の一層の活性化に貢献。

国概要

(基礎データ)

- 面積: 64,589平方キロメートル(日本のおよそ6分の1)
- 人口: 214万人(2016年7月, ラトビア内務省)
- 首都: リガ(首都圏人口約70万人)
- 民族: ラトビア系住民(59.9%), ロシア系住民(26.4%), その他(13.7%)
- 言語: ラトビア語
- 宗教: プロテスタント(ルター派), カトリック, ロシア正教
- 政体: 共和制
- 議会: 一院制(100議席)
- GNP: 312.33億ドル(2014年, 国連統計部)
- 一人あたりGNI: 15,700ドル(2014年, 国連統計部)
- 経済成長率: 1.9%(2015年, 国連統計部)
- 失業率: 9.96%(2015年, EUROSTAT)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

13世紀初より	ドイツ騎士団が進出し、領有
1282年	リガがハンザ同盟に加盟
1583年	リヴォニア戦争の結果、リトアニア・ポーランド領に
1629年	スウェーデン・ポーランド戦争の結果、一部がスウェーデン領に
1721年	北方戦争の結果、大部分がロシア領、残りはポーランド領に
1795年	第3次ポーランド分割により全土がロシア領に
1918年	11月18日、独立を宣言
1940年	ソ連に併合
1990年	5月4日、独立回復(移行開始)宣言
1991年	ソ連国家評議会がバルト三共和国の国家独立に関する決定を採択
2004年	3月、NATO加盟, 5月、EU加盟
2014年	ユーロ導入
2016年	7月、OECD加盟

援助実績

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
無償資金協力	1億9,800万円 (2008年度末時点)
技術協力	4億3,100万円 (2008年度末時点)

出典: ODA国別データブック2015
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)
(注)青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

経済関係

項目	金額等(直近年)
日本からラトビアへの輸出	64億円 (2015年, 財務省)
ラトビアから日本への輸出	72億円 (2015年, 財務省)
日本からラトビアへの直接投資	81万ユーロ (2016年第1四半期, ラトビア中央銀行)
在ラトビア日系企業数	6社 (2016年6月, 外務省)

人的つながり

項目	人数(直近年)
ラトビアにおける在留邦人数	51人(2015年10月, 外務省)
在日ラトビア人数	138人(2015年末, 法務省)
ラトビアから日本への留学生数	28名(2015年5月, 独JASSO)
日本からラトビアへの観光客数	21,575人(2015年の宿泊統計, ラトビア中央統計局)
ラトビアから日本への観光客数	1,862人(2015年, 日本入管統計)



岸田外務大臣とリンケービッチ・ラトビア共和国外務大臣との外相会談(2015年10月29日)

日本とラトビア共和国との協力年表

年代	案件
1991年	9月、ラトビアのソ連からの独立に際し、日本はバルト三国に政府ミッションを派遣し、バルト三国の平和裡の独立に関し支持を表明 10月10日に外交関係開設
1992年	在スウェーデン日本国大使館が兼轄開始
1996年	同年よりラトビアが日本のODA対象国となる 10月、経済協力政策協議を実施
1998年	リエパーヤ市立交響楽団に対する楽器供与の無償資金協力(4,200万円) 環境分野のプロジェクト形成調査団の派遣、研修員受入(3,500万円)の技術協力
2000年	1月、在ラトビア兼動駐在官事務所開設 4月、ラトビアとの査証免除取極発効
2001年	国立オペラ劇場に対する楽器供与の無償資金協力(4,800万円)
2002年	ラトビア国立交響楽団に対する音響・照明機材及び楽器供与の無償資金協力(5,000万円)
2003年	ラトビア国立フィルム・写真・音声資料保存館に対する資料保存機材供与の無償資金協力(2,700万円) ラトビア大学現代言語学部東洋学科に対する視聴覚機材供与の草の根文化無償資金協力(236万円)
2004年	ラトビア歴史博物館に対する視聴覚機材供与の無償資金協力(3,100万円)
2005年	リガ文化高等学校日本語学習機材整備計画の草の根文化無償資金協力(36万円)
2006年	1月、駐日ラトビア大使館開設
2009年	1月、在ラトビア兼動駐在官事務所が大使館に昇格、3月に常駐大使が着任
-2007年までの累計	研修員受入(76名)、専門家派遣(6名)、調査団派遣(50名)、機材供与(130万円)の技術協力(計4億3,100万円)

(2008年度以降の新規ODA実績はない)



リエパーヤ交響楽団と日本の交流は現在でも続いており、2015年7月には加藤登紀子氏が歌手活動50周年記念コンサートで同交響楽団と共演



供与機材で映画フィルムをビデオ記録へ変換の様子



日本語教育を行っているリガ文化学校では着物体験など日本文化学習も盛ん



歴史博物館の常設展示スペース内に設置されたデモンストレーション機材